

一般質問

一般質問とは、議員が高山市政全般にわたり、事務執行の状況及び将来に対する方針などについて所信を質すとともに、報告、説明を求め疑問を質すものです。

介護分野における人材不足について

新政たかやま

戸田柳平



問 介護・福祉の人材が不足している。人材確保に向けた市の取組は。

答 市では、これまで「訪問ヘルパーの資格の取得」や、「介護事業所に従事する職員の育成」「離職防止を目的とした研修会の実施」に対し助成を行うなど介護人材の確保に努めてきた。

昨年度には特に人材が不足している支所地域において、介護に関する入門的研修を開始した。

今年度からは、市内の介護事業所で学生がアルバイトを行う場合の助成制度を創設している。若い世代に介護を知ってもらうきっかけづくりのため、中学校や高校への出前講座なども行っており、今後力を入れていきたい。

庄川町六厩地区の産業廃棄物最終処分場計画について

新政たかやま

平戸芳文



問 産廃処分場計画書の県の審査が11月に終了し、県の条例手続きの二つ目の段階に移行した。4万6千を超える署名や、庄川流域の富山県でも関係団体による対策協議会が立上がるなど、地域の声が盛り上がる中、この先の県条例に基づく手続きはどのように推移するのか。

答 今後は、関係住民に対する計画の縦覧及び説明会の開催、周辺地域の環境影響評価の実施、さらに合意形成を図る段階へと移行し、最終的に県が合意形成の判断を行い手続きが終了する。また、並行して林地開発許可審査に基づく技術的安全対策等の審査も行われる。

コドモンについて

新政たかやま

水野千恵子



問 市は1月にコドモン（こども向けICTシステム）を公立8保育園に導入したが、詳細は？

答 園児の登園や保育業務をデジタル管理でき保護者もスマートフォンやタブレットを使って園の様子を画像で確認できる。登録すれば祖父母も見ることができ、諸連絡も届くのでいつでもチェックが可能。また、保育士の業務改善にもつながるシステムだと大変好評である。

買い物支援について

新政たかやま

石原正裕



問 人口減少・少子高齢化・運転手不足が進む中、買い物支援策の構築に向けて注文した食料品や生活必需品等を路線バスに乗せ、支所地域等の拠点となる施設に届ける貨客混載等、新たな視点で捉えた公共交通機能の拡充への考えは。

答 貨客混載の取組については、路線バス等を活用して食料品等を運搬することで、各地域へ必需品を運べる手段が増え、買い物支援につながるほか、運転手不足の解消にも寄与するが、運用に向けた課題もある。但し貨客混載も大切な視点であり、今後も交通事業者との連携を図り、買い物支援への取組を進める。